

事業活動温暖化対策計画に関する事項

新規 変更

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)		熊本市南区川尻2-7-21			
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)		コープ食品株式会社 九州工場 福永 勉			
事業概要		食料品製造業			
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用者)	前年度の原油換算エネルギー使用量			kl
	<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数			台
	<input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者				
計画期間		2018年度～2022年度			
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針		省エネ委員会を中心とした活動でエネルギー使用量を削減する。			
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制		エネルギー使用量を減らすことでCO2発生量を抑制する			
		環境マネジメントシステム名称	省エネ委員会	適用範囲	工場内 取得年月日
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容		1. コージェネシステムによるボイラー使用燃料の抑制、電力抑制。 2. 電力・燃料の見える化による従業員への啓蒙。 3. 熱源の遮断、区分けによる電力抑制、使用燃料抑制。			
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(A) (2006)年度 3,769 t-CO ₂	前年度の実績 (2017)年度 2,890 t-CO ₂	目標年度(B) (2022)年度 2,750 t-CO ₂	増減率 ((B-A)/A) -0.27%
	原単位温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(C) 0.460 原単位 当たり t-CO ₂	前年度の実績 0.419 原単位 当たり t-CO ₂	目標年度(D) 0.393 原単位 当たり t-CO ₂	増減率 ((D-C)/C) -0.146%
	原単位の考え方		生産量1tあたりの排出量		
特記事項		今回、作成支援様式を使用した為、過去のデータと係数が合わなくなり、計画から作り直しております。今後はこの計画に沿って対応します。			

- 備考
- のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。
 - 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
 - 「基準年度」とは、原則、計画期間の前年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。この場合、計画期間の前年度の実績を「前年度の実績」欄に記入してください。
「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
 - 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とします。
 - 原単位による目標を設定する場合は、「原単位温室効果ガス算定排出量」欄を記入してください。
「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。
 - 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。